

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年1月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675300208
法人名	医療歩人 大進会
事業所名	グループホーム ぽっぽえん
所在地	鹿児島県始良市池島町26番6号 (電話) 0995 - 65 - 3208
自己評価作成日	令和1年11月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和元年12月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・理念に沿って、ご入居者一人一人の、今日に至るまでの背景と生き方思いを尊重し、病歴を踏まえ、残存機能を生かした援助を心掛けております。
- ・ご家族や、地域の皆様とのつながりを大切に考え、居心地のよい、安心できる環境づくりに努めております。地域の活動には、出来る限り参加させて頂き交流をさせて頂いております。防災訓練や、運営推進会議において地域の皆様にご協力頂き、連携を深めさせて頂いております。
- ・職員の、質の向上を目指し、様々な研修会に参加させて頂いたり、法人内研修施設内研修にも取り組んでおります。
- ・医療との連携を図り、定期健診、定期受診、訪問看護、リハビリなど健康管理に努めております。
- ・畑での野菜作り、花飾りで、四季を感じていただけるよう努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は母体が医療法人で、介護老人保健施設、認知症デイサービス、グループホーム、訪問看護、訪問介護等、多くの医療・福祉施設があり、地域に貢献し、協力医療機関とは24時間対応の連携体制が整っており、本人や家族に信頼と安心を持たらしている。
- ・職員看護師と医療機関の看護師との連携が図られ、緊急時の対応などに適切な医療を受けられるよう支援している。
- ・自治会に加入し、運動会や文化祭など、地域行事や防災訓練等に積極的に参加し、地域との連携を深めている。
- ・管理者や職員間のコミュニケーションが図られ、外部研修に参加したり内部研修をして、理念を確認しながら自らの資質向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を壁に掲示しケアサービス提供時等、職員は常に理念に立ち返り、検討するように努めています。	地域密着型サービスの意義を踏まえた法人の理念を玄関や事務室に掲示し、パンフレットにも記載している。毎年ケア目標を立て職員会議等で振り返り、理念を共有し実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らされ続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	池島自治会の一員として運動会や文化祭等の地区行事に参加させて頂いている。地域の方々とも顔なじみとなり気軽に訪問して頂ける環境作りをしています。	町内会に加入し、運動会や文化祭への出場、出品もして地域行事に積極的に参加している。中学生の職場体験学習、看護学校の実習、ボランティアの受け入れなども行って、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の中学校のボランティア体験の受け入れ、警察学校の実習、看護学校の実習受け入れを行い理解を深めてもらっています。自治会の防災訓練にも参加し地域貢献に努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員の皆様とは良好な関係を築くことが出来ており地域の皆様との関係を繋いで頂いております。議題を工夫しながら今後のサービス向上に活かしたいと思います。	会議は定期的開催している。事業所の状況やヒヤリハット・事故報告・外部評価結果報告などを行い、意見交換をしている。会議での情報を検討し特殊浴槽の導入など、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議の報告書や、ぽっぽえん便りを毎月お届けし、日々の取り組みをお伝えしております。また困りごとや分からない事など、その都度、相談し協力関係作りに努めています。</p>	<p>市の担当者とは、窓口に出向いたり、電話で事業所の実情や取り組みを伝え、助言をもらうなど連携を深めている。運営推進会議を通して協力関係もできている。福祉課の担当者とも連絡し合っている。市主催の研修会や県認知症協議会の研修にも積極的に参加している。市相談員からアドバイスをもらっている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>利用者の人権を守ることがケアの基本であることは正しく理解しております。現在、ベッドからの転落リスクの高い利用者様に対してご家族への説明、同意を得て四点柵を実施しております。今後は職員会議、ミーティングにより身体拘束防止に向けた取り組みを行っていきます。</p>	<p>法人の身体拘束廃止委員会での研修会に参加したり、事業所での職員会議・ミーティング等で勉強会を行い、言葉による拘束も含め職員の共通認識を図り身体拘束をしないケアに取り組んでいる。医師の意見も大切にしている。日中の施錠はせず、職員の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日常においての虐待はありません。研修会や勉強会に参加することで、職員全体での意識の向上に努めております。言葉による暴力も意識し、言葉遣いについても気を付けています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在、成年後見制度を活用している利用者があります。書籍や研修会に参加し制度の理解に努めております。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>制度が変わったり、契約内容に変化が生じた場合は、ぼっぼえん便りにおいて紹介したり必要時はお知らせを発行し心配な方には個々に説明しています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご意見を伺った際は、職員会議や臨時ミーティングを通じて迅速に対応し、早い段階で改善状況の報告を行えるよう努めています。事業所側からも何か意見がないか、ご本人様やご家族様が話をしやすいよう環境に配慮をしています。</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、家族からは面会時や電話・運営推進会議などが意見を聞く良い機会となっている。そこでの希望で、訪問マッサージを利用するなど、意見を反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議では、なるべく全員に意見の発言を促し反映に努めています。また人事考課を取り入れ、管理者は定期的に職員と個別面談を行い、一人ひとりの声に耳を傾ける機会を作っています。</p>	<p>管理者はミーティングや職員会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスしている。出された意見をケアの改善に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員は管理者に個々の事情を伝える機会があり、それを勤務表上に反映させるなど働きやすい職場環境作りに努めている。また代表者と管理者間においても同様に対応しています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内の研修を定期的に行っています。また、専門性の向上に加え、人間性の向上に向けた勉強も行い教養の向上に努めています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県グループホーム協議会への加入のほか、各団体による研修案内を通じて同業者との交流機会の確保に努めています。また法人内の他事業所との情報交換や交流会の機会を通じて互いの質の向上に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前の面談、情報提供により得られた情報をもとに、本人と会話を行い確認しながら信頼関係を築いています。困り事には迅速に対応し、本人が不安にならないように全職員で気を配ります。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所時にご家族の方に話を聞かせて頂き、状況に合わせた対応を行い安心して頂けるように信頼関係作りに努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>初期の段階で利用者やご家族と話をすることでニーズを見極め、サービスの提供に努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者の方もそれぞれに応じて役割を持って頂くことで、暮らしを共にする者同士支え合う関係を築いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人を取り巻くご家族との関係を理解し、ご本人の日頃の思いをお伝えする中で、本人と家族の良好な関係作りに努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に来られた時に本人が楽しみに待っておられたことをお伝えしています。自宅近所の方も遊びに来られ、楽しく会話しておられます。	家族や友人・知人の訪問が多く、一緒にお茶を飲んだりしている。一緒に外食に出かけたり理美容院利用・墓参の支援もしている。電話や手紙の取次ぎなども行っている。家族の協力で外出や外食・墓参などに出かけ、継続的關係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングで食材の下ごしらえ、洗濯物たたみ、御膳ふきなど、協力して作業して頂いています。その日の体調をみながら声かけし、みんなで一緒に作業できるよう心掛けています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了し医療機関へ入院されてからもご本人と面会を重ね、ご家族と話し、経過を見守り必要に応じてフォローしていけるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その人らしく暮らし続けられるよう思いに寄り添い、職員間で入居者の言葉や行動を伝えあい、思いを推察するよう努めています。	日々の関わりの中で個々人とのコミュニケーションを図り、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。困難な場合は、利用者の思いを家族とも相談し、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人の話や、ご家族からの情報により、生活歴をうかがう機会を積極的に作るようにしています。ご家族との距離が近くなってからのほうが詳しく教えて頂けるようですので関係作りにも努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々のモニタリングを行い、状況が変わるごとに、職員全体で検討を重ねています。本人が出来る事を暮らしの中で把握していきます。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議の中でケアプラン内容の検討を行い色々な意見を出し合いアセスメントとモニタリングを行い介護計画の作成に努めています。	本人・家族の意向を確認し、主治医の意見も取り入れた担当者会議で、個々に応じた介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケア記録は日々の状況だけでなく変化点の記録に努め、1日2回の申し送りやミーティングで検討した内容を連絡帳にて全職員が共有できるよう図っています。それを介護計画に反映させています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者のニーズに合わせて柔軟な支援を行い、家族との時間を大切にできる取り組み等に努めています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>利用者によってはこれまでお付き合いされてこられた近隣友人が訪ねてくる場合があります。認知症の進行から理解できないこともあります。職員が知り得ている情報から仲介を行い、ご本人の記憶が想起でき関係を継続できるよう支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人、ご家族の希望するかかりつけ医の受診が継続できるよう支援しています。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関の月2回の往診や職場看護師の健康管理や協力医療機関の看護師との連携も図り、緊急時の対応などに適切な医療を受けられるよう支援している。他科受診は家族の協力を得て支援している。受診結果は家族と共有している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>健康状態の変化や異常に気づき、職場内の看護職員や病院医療連携看護師に伝え、利用者が早期に適切な受診ができるように支援しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>フェースシートを作成しており、経過や生活面の情報を迅速に提供できるようにしてあります。また面会を重ね病院職員から直接現状を伺い、そのうえで病院と事業所との暮らしぶりに落差が生じないよう連携に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末ケアの状態になられた場合、ご家族、法人医療連携相談員、管理者、看護師、ケアマネによるカンファレンスを持ち、対応を検討します。また主治医の意見も取り入れ、ご本人にとって最も望ましい対応を目指しています。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い随時話し合い、家族の希望に沿って主治医や看護師と協力しながら事業所としてできるだけだけの支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>法人内の研修、施設内の研修において応急手当について学ぶ機会をもっています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の地域を交えた防災訓練を重ねており、職員は、全員が対応できるよう、訓練を行っています。回を重ねるごとに地域の参加者も増え、積極的なご意見も頂き感謝しています。</p>	<p>年2回消防署指導のもと、昼夜想定避難訓練を実施している。スプリンクラーや緊急避難装置を設置し、緊急連絡網に町内会長や地域の人を登録し、地域住民との協力体制も整っている。水・米・カップラーメン等を備蓄し、カセットコンロ・懐中電灯・頭巾も用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに合った声掛けをし、その都度自己決定を促すなど、尊重した生活を目指しています。馴染みの関係の中、鹿児島弁で話かけますが、言葉を崩しすぎないようにしています。	法人で研修会や事業所でも勉強会を行って、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけをしないケアに取り組んでいる。入室時や入浴・トイレ誘導などでは羞恥心に対する配慮を行っている。呼び名は苗字に「さん」付けで対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が嫌がられる時は無理強いをせず様子を見たり、再度声掛けしながら本人の意思を尊重しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活ペースを大切に、外出することが好きな方に対しては外出機会を増やす工夫をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入浴後には定期的に爪切りを行い、日々櫛で髪を整えたり髭剃りなどの支援をさせて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	料理の下ごしらえは皆さんで参加しています。ゴマすりや和え物作りなど、能力に応じて参加してもらっています。お膳ふきは交代制にして手伝ってもらっています。	嗜好に配慮し、個々に応じた食事形態を工夫している。準備や片付け・わらび餅作りなど、利用者の個々の能力を活かし職員と一緒にしている。誕生祝いや季節の行事食など、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の好みに応じた飲み物を提供し必要量を摂取できるよう声掛けをしています。食材に対する咀嚼能力など、その都度観察を行い、食べやすいように工夫しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の状況に応じて口腔ケアを行い記録に残しています。自己管理している方についても定期的に口腔内を確認し清潔を保っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄能力に応じて夜間オムツ対応の方も日中はトイレ誘導を行う等しています。又、排泄チェック表を用いて個々のパターンに応じた排泄誘導を行っています。	排泄チェック表でリズムを把握している。必要に応じての声かけを行い、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。夜間にポータブルトイレを使用している。排泄に関する事で個々にできる事を見出し改善できた例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に応じて飲み物の工夫を行いながら飲水を促すほか体操もしています。ヨーグルト摂取など薬に頼らない便秘対策にも取り組んでいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	ご本人の希望を尊重して体調をよく観察しながら行っていきます。入浴できない方は、身体を拭いたりするなど、清潔を心がけています。	基本的に週3回であるが体調や希望にそって柔軟に対応している。機械浴もある。担当職員は「今日の入浴の担当です」と必ず挨拶している。固形石鹼から弱酸性浴用石鹼に変更し、肌に優しく入浴を楽しめるように支援している。入浴を拒む利用者には時間調整など職員間で連携して、個々に応じた入浴の支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	心地よい休息を取って頂くために室温調整や明るさに配慮しています。夜間不眠傾向の方へは眠剤投与も行っていますが、日中の活動内容など検討を重ねています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	臨時薬が処方された場合は、副作用にも注意しています。誤薬のないよう壁掛けお薬ポケットを使用し、利用者の名前、服用日時を声に出して職員2人で再度確認を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>洗濯物たたみや調理など毎日の暮らしに張りがあるよう得意なことを中心に行ってもらっています。歌、踊りの好きな方には声掛けなどし、一緒に楽しむ事にも心がけています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>買い物に出かけたり、行事や催し物などが開かれるときには、お一人お一人声掛けし、楽しんで頂けるよう外出しています。近くの公園では催し物も多く、運動会など、楽しませてもらっています。</p>	<p>日常的には周辺の散歩や公園に出かけたり、外気浴・買い物に行っている。年間計画を立て、初詣や季節の花見・紫陽花ロードを歩いたり、地域行事の運動会に出かけている。家族の協力で外出・外食・墓参などに出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族の同意を得て事業所でお金を預かっています。本人が買物に行き、好きなものを購入するなど買物を楽しめるように支援しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人のご要望に応じてその都度対応しています。プライバシーに配慮してご家族の方と電話で話ができる環境に努めています。手紙のやり取りについては実施している利用者はありません。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングには季節を感じられる壁面飾りを心掛けてます。温湿度計を確認しながらエアコン調整し、衣類などで個人の好みに調整もしています。クーラーが嫌いな方には重ね着をして頂くなど工夫しています。</p>	<p>共用の空間は換気・温度・湿度に配慮し清潔である。季節を大事にした壁面飾りがある。季節の花も飾っている。台所は利用者との会話もしやすい作りである。ソファでも居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングに利用者本人の決まった椅子がありテレビ視聴や新聞や雑誌を読み楽しんでおります。リビングソファに二、三人一緒に腰掛け、良好な関係作りに配慮しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人やご家族の希望に応じて、できるだけ馴染みのものを使って頂いています。本人が使用していた置時計等を持ってこられ居心地のいい環境作りをしています。</p>	<p>居室はベッドやエアコン・タンスが備え付けである。椅子やタンス・テレビ・ラジオ・仏壇・位牌・遺影・家族の写真・ぬいぐるみなど、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮してある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ベランダには段差があり、1階に下りるにはエレベーターの使用が必要で自立した生活を送って頂くには、見守りが欠かせない状況にあります。トイレなどは見当がつきやすいように大きな文字で分かりやすく表記しています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない